

年 組 名前 :

第59回山日YBS杯県少年野球大会で優勝した山城クラブの主将

望月 成夢君

初優勝の要因について「全員が楽しく、一生懸命プレーすることができたこと」と語る。チームのスローガンは「一笑懸命」。ミスをした時やピッチの時も、笑顔でプレーするのが山城クラブ流だという。

「笑顔でプレーする」と語り、「スクイズは得意。しっかりとバットに当てられた」と振り返る。

山城クラブは6月の全日本学童軟式野球大会県予選を初めて制した勢いそのままに、山日YBS杯も初優勝。「この大会も勝ちたかったのですが、優勝できてうれしい。楽しい大会だった」と満面の笑みを見せる。



もちつき・なるむくん山城小6年。甲府市東下条町。12歳。

攻撃では3番を打ち、守備では遊撃手兼投手と、攻守にわたってチームを引っ張る。「マウンド上では外角にしっかりと投げ込んで、打たせて取る投球を心掛けています」。決勝は五回途中から登板して無失点に抑え、勝利に貢献した。

峡南高で内野手としてプレーした父・郷さんの影響で、小学2年から野球を始め、みるみるうちにのめり込んだ。「点の取り合いが面白い」と話す。チーム練習だけでなく、自宅で郷さんがトスする球を打つ自主練習にも取り組んでいる。

新チームに切り替わった時、自ら主将に立候補。「初めは下級生をまとめるのに苦労した」と明かす。それでも続けられたのは「野球が楽しいから。最近では下級生も指示を聞いてくれる」と笑う。

〈藤原智希〉

「一笑懸命」プレー 頂点に

(2022年8月12日付 山梨日日新聞4面)

問1

山城クラブは、2つの県大会で優勝しました。その大会名を教えてください。

.....

問2

山城クラブ主将の望月君は、初優勝の要因を、どのように話していますか。

.....

問3

山城クラブのスローガンを書いてください。

.....

問4

望月君は、自ら主将に立候補しました。初めは何に苦労しましたか。

.....